

公 共 事 業

県内道路は延長2万8千km, このうち国道2533km, 市町村道24955kmである。幹線である国道は42%が舗装されているが, 他の道路は1.4%しか舗装されていない。

しかし, 府県道で100km以上舗装されているのは本県を含めて11都府県だけなので, 全国的には上位にある。32年には県の土木事業費のうち12%の2億8千万円が道路橋梁費として使われ着々と整備されており, 今後も産業の動脈である道路の急速な整備が期待されている。

港湾の状況は千葉港を除いては割合に小規模な港だけであるが, 各港とも年々動きは活発となり, 32年中には330万トンの貨物が, これらの港で輸出入或は移出入された。

建築物の着工をみると32年には89万 m^2 (27万坪)で, 前年より17万 m^2 多く着工された。構造別には主として木造であるが, 最近は鉄筋コンクリート建や鉄骨建の近代建築が多くなつてきている。

電力の消費は産業の発展と家庭電化の普及にともなつて年々増加しており, 32年の消費量は28年にくらべ電灯用で1.2倍, 電力用で1.6倍である。電源は千葉市に建設された東京電力火力発電所によつて県内の需要は勿論, 県外にまで供給できるようになつた。

ガスや上水道は, これらの施設が何れも都市に傾つているため需要地域も限られ, 32年のガス需要戸数は2万1千戸で県下全世帯数の約3%, 上水道の給水人口は44万6千人で全人口の20%が利用しているに過ぎない。しかし両者とも年々設備は拡充され利用者も増加している。

都府県道の舗装道路の割合
(昭31)

